

大阪 ぼしれん

発行所 社会福祉法人
大阪府母子寡婦福祉連合会

発行人 滝本 美津代
大阪市東成区中道1丁目3番59号
大阪府立母子・父子福祉センター内
電話 06(6748)0263
FAX 06(6748)0264
URL : <http://www.osakafu-boshiren.jp/bosh/>

8月号

(252号)

トピックス

- 1面 皓養奨学金
給付式
ドリームキャッチ
プロジェクト報告
- 2面 春のお母さん旅行
お知らせ

令和4年度 皓養奨学金給付式



一般財団法人皓養社 宮本理事長

6月11日(土)大阪府立母子・父子福祉センターに於いて、161名の奨学生が出席し、皓養奨学金給付式を開催しました。新型コロナウイルス感染症のため、令和2年、令和3年は給付式を中止したため、3年ぶり、大阪府立母子・父子福祉センターでは初めての開催となりました。

皓養奨学金は昭和48年、一般財団法人皓養社様から「経済的に困難なひとり親家庭の高校生に教育費を助成したい」との申し出により始まり、その後、毎年多額のご寄付をいただき行っています。皓養社様からの寄付金は、奨学金の他、ひとり親家庭の健全育成のための事業にも使わせていただいています。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、多くの奨学生で会場が埋まりました。皓養社理事長 宮本様は、まずウクライナ戦争に触れ、戦争は避けなければならないものであるということ。そして、日本での77年前の太平洋戦争。

その終戦後、焼け野原の中、若者を養育しなければと、昭和21年に先代の中納家が奨学金給付を始め、それがずっと続いていると皓養奨学金の成り立ちについて教えて頂きました。また、奨学生に向けて、「人は誰もがその人生で苦難と出会うが、辛い時期は通過できる、生きていく上での自信になる。人は決して一人で生きるのではない。これからも、一人ぼっちではない。互いに助け合い、支え合い、幸せは分かち合い、苦しみは分け合って、まず心を開いて相談相手を作ってください。また、相談相手になってあげてください。そして、ゆとりができれば、社会に貢献できる人になってほしい、心豊かに素晴らしい人との出会いを大切にしてください」と励ましのお言葉をいただきました。宮本理事長の温かい心に残るお話に会場の奨学生は聞き入っていました。

最後に、昨年の奨学生からのお礼の手紙を紹介し、閉式となりました。

ドリームキャッチ プロジェクト

を開催しました。



6月26日(日)タツタ電線株式会社体育館にて日本プロ野球選手会主催の野球教室を開催し、府内から32名の親子が参加しました。講師の元阪神タイガースの上本博紀氏、藤川俊介氏からキャッチボールやティー打撃、遠投の方法などを学びました。子どもたちはひとりひとり、打ち方、投げ方のフォームなどジェスチャーを交えて講師とコミュニケーションを図っていました。さすがプロ野球

参加者の感想

- 元阪神タイガースの選手に教えてもらって、とても楽しかったです。
- また次回も参加したいと思いました。
- やったことがなかったけれど、野球が好きになりました。

選手です。見る見るうちに子どもたちは上達し、ボール拾いをしていたスタッフたちも、だんだんと遠くまで飛んでくるボールに驚きを隠せませんでした。はじめは緊張していた子どもたちも親しみやすい講師のおふたりとすぐに打ち解け、体全体で野球の楽しさを教わりました。とても充実した時間を過ごすことが出来ました。

春のお母さん旅行



去る6月19日から1泊2日で梅雨晴れの中、岐阜県奥飛騨温泉へ43名で行って来ました。1日目は、江戸時代の城下町の趣をそのままに残す飛騨高山を散策し、江戸幕府が設置した代官所の陣屋の中を見学された方もいました。

宿は新緑が美しい山の中にあり、ケーブルカーで行く離れの露天風呂では、目の前に広がる奥飛騨の雄大な景色を眺めながら特別な時間を味わいました。

2日目は新穂高ロープウェイと乗鞍スカイラインの二手に分かれての観光。日本で唯一2階建てロープウェイで標高2156mまで一気に登り、少し雲が多かったですが、時折雲の間から美しい山々が顔をのぞかせた時は歓喜の声が上がりました。一方、乗鞍スカイラインは残雪が残る気温



8度の世界で、青い鶴ヶ池と白い雪、緑の木々のコントラストが美しい景色を堪能しました。梅雨時期の旅行でしたが、母子連パワーは健在で傘の出番がほぼ無く、身も心も満たされた旅行になりました。

令和4年度 大阪府母子父子福祉推進委員 研修会

6月11日(土)大阪府立母子・父子福祉センターにおいて、89名が参加し、令和4年度大阪府母子父子福祉推進委員研修会を開催しました。

まず「児童扶養手当について」大阪府家庭支援課貸付・手当グループ 藤村氏から制度について詳しくご説明いただき、改めて児童扶養手当について理解を深めることができました。

その後、推進委員を長く務めておられる3人の方による推進委員活動に大切なこととして、訪問する際は、笑顔と寄り添う気持ちを心掛けること、相手の話を傾聴の姿勢で聴くこと、そして、相手の立場に立ち思いやる気持ちを絶えず持ちながら、ひとり親や寡婦の問題点や課題を役所に繋げていくことであると話されました。

意見交換では、4人1組となり、「今後の活動に活かしたい支援内容」をテーマに話し合いました。違う地域の方の意見などを聞くことができ、これからの支援にも活かせる研修会になりました。

※大阪府下、各市町村の小学校区ごとに身近な相談相手として、推進委員の方がいます。

困ったこと、悩み事などがあれば、ご相談ください。推進委員については、大阪府母子寡婦福祉連合会までお問い合わせください。



令和4年度大阪セミナー&個別相談会

「離婚と子どもの心」～養育費と面会交流を考える～

お子さんの心身の健全な成長のために養育費や面会交流など、大人が気をつけなければならないことについて一緒に考えてみませんか。

日時 令和4年8月13日(土) 13:30～16:30

場所 大阪府立母子・父子福祉センター 4階ホール

対象者 お子さんがいて離婚を考えている方・ひとり親家庭の方・お子さんと別居している方など

おはなし 13:30～14:15(おはなしの後、座談会30分)
(定員20人)

個別相談会 1人40分(定員10名)

13:30～16:30の間

※元家庭裁判所調査官がおはなし、個別相談会を行います。

申込方法 QRコードからお申し込みください

締切 8月5日

※締め切り後のお問合せも受け付けます。



【主催】養育費等相談支援センター(厚生労働省委託事業/公益社団法人家庭問題情報センター)

【後援】大阪府・社会福祉法人大阪府母子寡婦福祉連合会

社会福祉法人 大阪府母子寡婦福祉連合会

〒537-0025

大阪市東成区中道1丁目3番59号

大阪府立母子・父子福祉センター内

TEL 06-6748-0263

FAX 06-6748-0264

URL <http://www.osakafu-boshiren.jp/>



ホームページ
QRコード



LINE
QRコード

現在LINEは情報発信のみです
(QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。)